

Japan Utility Model Laid-Open Number: 56682/1979

Laid-Open Date: April 19/1979

Application Number: 129605/1977

Application Date: September 27/1977

Int. Class Number: A61K 7/00

Name of Inventor: Masao Mori

Name of Patentee: Lead Chemical Co. Ltd.

Title of the Invention

Pack agent

Scope of the Claim for Patent

A pack agent prepared by coating a pack material on at least one surface of a substrate made of paper, fabric, non-woven fabric, plastic film or a homologue thereof, and coating the surface of the pack material with a releasable film.

Brief Description of the Diagram

The drawing is a cross-sectional view showing an example of the prevent invention.

In the figure:

- 1 ... a substrate,
- 2 ... a pack material and
- 3 ... a releasable film.

(B)20000470027
EXAMINATION 1997/01/19

刊 行 物 4

⑩日本国特許庁(JP)

⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報(U)

昭54-56682

⑬Int. Cl.
A 61 K 7/00

特許番号 ⑭日本分類
31 B 0

庁内整理番号 ⑮公開 昭和54年(1979)4月19日
7432-4C

審査請求 承認済

(全 1 頁)

⑯バック剤

富山市天正寺248番地

⑰出 願 人 リードケミカル株式会社

富山市日俣77番3

⑱実 願 昭52-129605

⑲出 願 昭52(1977)9月27日

⑳代 理 人 弁理士 夢溪美 外1名

㉑考 案 者 斎政雄

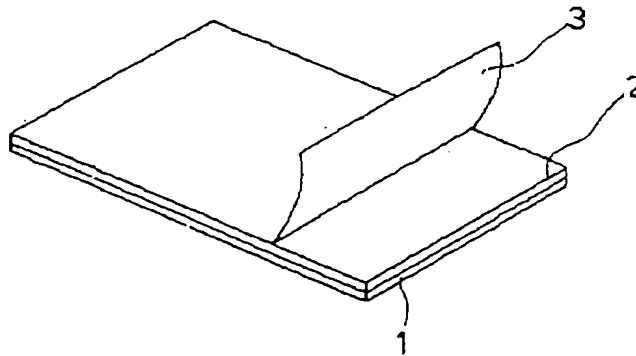
㉒実用新案登録請求の範囲

紙、布、不織布、プラスチックフィルムまたはこれに類するもの等よりなる支持体の少くとも一面上にバック素材を塗布し、該バック素材の表面を耐摩耗フィルムで被覆したことを特徴とするバック剤。

図面の簡単な説明

図面は本発案の実施例を示す斜視図である。

図中、1………支持体、2………バック素材、3………耐摩耗フィルム。



公開実用 昭和54—56682



(3,000円)

実用新案登録願

昭和 52 年 3 月 27 日

特許庁長官殿

1. 考案の名称 **ベックナ**
2. 考案者
住 所 **富山県富山市天正寺248番地**
氏 名 **森政雄**
3. 実用新案登録出願人

住 所 **富山県富山市日保77番3**
名 称 **リードケミカル株式会社**
代 表 者 **森政雄**

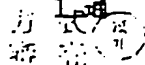
4. 代 理 人 (平101)

住 所 **東京都千代田区神田駿河台1の6、主婦の友ビル**
(電話 (291) 9721~4)
氏 名 **(6271) 栗 優 美**

(ほか 1 名)

5. 添付書類の目録

(1) 明細書	1 通	(4) 委任状	1 通
(2) 図面	1 通	()	
(3) 願書副本	1 通		



52 129600

明 細 書

1. 考案の名称

パ ッ ク 剤

2. 実用新案登録請求の範囲

- (1) 紙、布、不織布、プラスチックフィルムまたはこれに類するもの等よりなる支持体の少くとも一面上にバック素材を造布し、該バック素材の表面を剝離用フィルムで被覆したことを特徴とするバック剤。

3. 考案の詳細な説明

本考案は使用方法の簡便なバック剤に関する。

バック美容法は皮膚を一定時間皮膚膜で覆つて、その間に皮膚に栄養素と水分を補う一方、皮膚の血行を促して所定の栄養素の吸収を高めるマッサージ作用や皮脂腺、汗腺の機能を調節して皮膚になめらかさとうるおいを与える老化防止作用があると共に、バック剤をとり除く際皮膚面に付着した塵埃や皮膚面に分泌された老廃物を同時に取り去り、且つ老化した表皮の第一角

(1)

54-56682

公開実用 昭和54—56682

質層を取り除いて新しい表皮細胞の形成を促す新陳代謝促進作用をも期待できる効果的な美容法である。

従来この種目的のため市販されている多くのパック剤は、ポリビニルアルコール等の水溶性高分子物質の水溶液に保湿剤、増粘剤、アルコール、収れん剤、香料及び栄養素等を添加してなる液状のもので、使用に際しては該パック剤を一定の厚さに満遍なく肌に塗って約20分間放置乾燥させた後、フィルム状になつた膜をはがす方法をとっている。しかしながらこのパック剤は、肌に塗り終るのに多くの時間を要し、しかも一定の厚さに満遍なく塗ることは、慣れた人でもかなり難しく、また乾燥を待つ20分間は顔の筋肉を動かさないようにしなければならないと共にパック途中に美容等で拭きとらざるを得ない場合には、また初めからやりなおす必要がありしかも短時間で乾燥させる必要があるため皮膚が弱い場合にはかえつて皮膚を痛めたりかぶれたりする欠点があつた。

本考案は上記欠点を解消しようとするもので、紙、布等よりなる支持体の少くとも一面上にバック素材を重布し、該バック素材の表面を創腫用フィルムで被覆した使用方法の簡便なバック剤を提供するにある。

次に本考案の一実施例を図面に従つて説明する。図は本考案のバック剤の斜視図を示すもので、支持体1と支持体1上面に一定の厚さに重布したバック素材2と該バック素材2の表面を被覆した創腫用フィルム3とから構成されている。

支持体1としては、バック素材2を保持し得るものであるなら、布、紙、不織布、プラスチックフィルムまたはこれに類する布状のものを適宜使用することができる。

バック素材2としては、従来公知のバック素材を使用することもできるがポリアクリル酸塩、多価アルコールおよび水を主成分とするバック素材が、安定した保水性と保温性とを有し、使用時間中適量の水分と保温性とを保ち皮膚の血

公開実用 昭和54—56682

行を促進しバツク素材に含まれる栄養素が充分に吸収され皮膚になめらかさとうるおいとを与えるのに好適である。しかも該バツク剤はこれを剥離するとき皮膚を痛めることなく皮膚面の腐埃、分泌物をとり除くと共に表皮の老化した第一角質層をおだやかに剥離して新しい表皮細胞を形成させる効果もある。バツク素材の組成の一例としては、ポリアクリル酸ナトリウム6部、グリセリン23部、カルボキシメチルセルロースナトリウム4部、メチルセルロース2部、ゼラチン3部、カオリン7部、クエン酸0.5部、アラントイン0.15部及び微量のビタミンA油と合計100部となる量の水からなる組成が挙げられる。

剥離用フィルム3としては、ポリエチレンフィルム、ポリプロピレンフィルムその他これに類するものを適宜使用することができる。

本考案のバツク剤は所望の形状にすることができ、あらかじめ皮膚に貼付しやすい形に裁断しておくのが好ましい。

以上述べた如く本考案のバック剤は、使用者が剝離用フィルムをはがして一定時間皮膚面に貼付するだけでよいので使用が非常に簡便であり、バック途中で一時的にはがすことも可能であると共に、バック素材を一定の厚さに塗布することができる為、バック剤の厚さの相違による皮膚の局所的な引っ張り感がない等の利点を有する。

4. 図面の簡単な説明

図面は本考案の実施例を示す斜視図である。

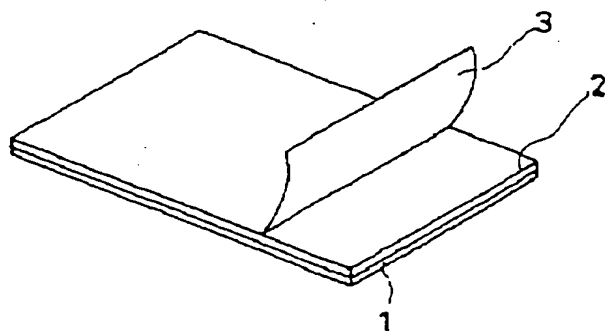
図中、

- 1 …… 支持体
- 2 …… バック素材
- 3 …… 剝離用フィルム

実用新案登録出願人 リードケミカル株式会社

代理人 弁理士 専 優 美
(任か1名)

公開実用 昭和54—56682



56682

代理人 粵 倭美外 1名

[書類名] 添付書類
[特許] 平10-317439(10.11.09)

[受付日] 平12.03.08

頁: 9/ 9

6. 前記以外の代理人

住所 東京都千代田区神田駿河台1の6
主婦の友ビル

氏名 (4861) 専 経 夫

(2)

54.56672